

狙いを定めてゲート通過 県外の仲間と交流も

～忍者の里杯親善ゲートボール大会～

忍者の里杯親善ゲートボール大会が10月11日、甲南グラウンドで開催されました。毎年多くの愛好者が参加するこの大会は今年で17回目を数え、この日も県内各地をはじめ三重県や奈良県から約700名が集まりました。秋晴れの下、コートのおちこちでスティックの音が響き、白熱したプレーが繰り広げられました。選手らは親睦の輪を広げ、健康でゲートボールに打ち込めることを共に喜んでいました。



▲巧みにゲートを通させる愛好者

走る・跳ぶ・投げる 陸上競技に汗

～市民体育大会～

甲賀市民体育大会が10月18日、水口中学校グラウンドで開催されました。今年で6回目を迎えた陸上競技の大会で、市民の間に広くスポーツを振興し、選手同士の交流を図ることを目的に開催されています。5つの支部対抗の部と、事業所やクラブチームが競う一般の部とオープン種目の部に、小学生以上の600名が参加。好天の下、熱戦が繰り広げられました。選手らは真剣な表情で各競技に挑み、普段の実力を全力で発揮し、周りの声援に応えていました。



▲声援を受け全力で競技に挑む選手たち

言葉の壁を越えて 心の交流深める

～姉妹都市・韓国利川市の中学生が来訪～

韓国利川市から11名の中学生が当市を訪れ、10月17日から21日まで市内中学生宅でホームステイをしながら、学校生活や観光などを通じて交友を深めました。滞在期間中、利川市の生徒たちは着物の着付けや抹茶の試飲、手裏剣投げ、作陶などを体験し、日本や甲賀の文化に触れました。

お別れパーティーでは、生徒が滞在中の感想を話すと、涙ぐむホストファミリーの姿も。5日間という短い期間でしたが、言葉の壁を越えた心の交流で、相互理解と信頼・友愛を築きました。12月には、今回受け入れた中学生が利川市を訪問することになったことになり、再会が果たされる予定です。



▲作陶を体験する利川市の生徒



▲再会を誓う別れのとき

地域の発展とともに 歩んだ100年

～佐山小学校～

創立100周年を迎えた佐山小学校で10月25日、記念式典が開催され、児童や保護者、地域の皆さんが節目を祝いました。特別来賓として、卒業生で100歳の橋本よしゑさんと、漫画家のかわい千草さんも出席。全校児童による群読が発表されたほか、甲賀中吹奏楽部や小佐治すいりよう太鼓の演奏が式典に花を添えました。また、明治42年の設立からの歩みが写真で展示され、訪れた人は、なつかしく見入っていました。分村合併のため3年まで在籍していた中嶋市長も出席し、「牛車に乗せてもらい通学したことを覚えています。子どもたちの素直な心と地域の温かな眼差しは佐山の素晴らしい持ち味」とあいさつしました。



▲児童らに囲まれる100歳の卒業生橋本よしゑさん

創立50周年記念誌を 発刊

～水口郷土史会～

今年創立50周年を迎えた水口郷土史会が記念誌「あゆみ50年」を発刊しました。同会では、半世紀に渡り学習や研究を積み、また甲賀武士や水口岡山城など、水口地域や市全体に関わるテーマで講座を開催されるなど、活発な活動を続けられています。記念誌では、創立当時から現在までの時代背景や水口の様子、同会の活動などが紹介されています。有償配布となっていますので、ご希望の方は水口中央公民館内水口郷土史会（TEL6510488）までお問い合わせください。



▲発刊された記念誌

手作りの衣装で 「トリック・オア・トリート」

～世界まなびじゅく・ハロウィンパーティー～

仮装をした子どもたちが「トリック・オア・トリート（お菓子をくれないといたずらするぞ）」と言ってお菓子をもらいに回るお祭り・ハロウィン、秋の行事として日本でも親しまれています。10月24日には、かふか生涯学習館で世界まなびじゅくのハロウィンパーティーが行われました。仮装コンテストが行われるとあって、会場には、魔女やプリンセス、お化け、忍者など工夫を凝らした手作り衣装に身を包んだ子どもたちが集合。外国人ゲストと一緒にゲームやダンス、歌で楽しいひとときを過ごしました。



▲自慢の衣装でゲームを楽しむ子どもたち